

**個人参加
公共施設見学参加者**



広報広聴課 ☎55-2736

コース

市役所→富士総合運動公園温水プール、陸上競技場→富士常葉大学（見学・昼食）→中央図書館→市民活動センター（コミュニティf）→障害者就労支援施設吉原つくし→市役所

とき 3月17日(火) 9:00～15:00

対象 市内在住・在勤の人

定員 20人（応募者多数の場合、初めての人を優先し、抽せん）

参加費 無料

申し込み 2月20日（必着）までに、電話またはFAX・はがきに、参加する人の住所、氏名、年齢、電話番号（1通につき2人まで申し込み可）、今までの参加回数、「3月17日見学希望」を記入し、〒417-8601 富士市役所広報広聴課「公共施設見学」係へ ☎51-1456

**平成21・22年度
市政モニター**

広報広聴課 ☎55-2736

任期 4月1日～平成23年3月31日

内容 在宅にて市政アンケート（年4回程度）の回答など

対象 平成21年4月1日現在満18歳以上で平成21年1月1日以前から市内在住の人（公務員・市の行政委員などを除く）

定員 100人（応募者多数の場合、地域や年齢などを考慮し選考）

謝礼 回答1回につき図書カード500円分

通信手段 郵送または、Eメール（携帯電話を除く）

申し込み 2月27日（必着）までに住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号、希望通信手段（Eメールの場合はEメールアドレスも記入）、「市政モニター希望」を記入し、郵送またはFAX・Eメールで、〒417-8601 富士市役所広報広聴課へ ☎51-1456
✉monitor@div.city.fuji.shizuoka.jp

2月の教育委員会会議

2月定例会を次のように開催します
（傍聴できます）

とき 2月20日(金) 13:30～

ところ 市役所8階政策会議室
教育総務課 ☎55-2865

**産休・育休明けによる児童の
保育園入園予約について**

こども保育課 ☎55-2762

平成21年度中に産休・育休取得後、職場に復帰する際、家庭で保育できない児童の保育園入園予約を受け付けます。

受付期間 3月2日～10日（閉庁日を除く）

受付場所 こども保育課（市役所4階）
対象 産後休暇・育児休業を取得し、自宅外労働で6時間以上の仕事への就労復帰が決定している人
※提出書類など詳しくは、入園案内（こども保育課、各保育園で配布）をごらんください。

**平成21・22年度
社会福祉協議会モニター**

社会福祉協議会 ☎64-6600

内容 会議、施設見学、モニター通信などを通じての提言

任期 4月1日～平成23年3月31日

対象 市内在住の20歳以上の人（公務員などを除く）

定員 20人（応募者多数の場合選考）

謝礼 年間1万円

申し込み 3月16日（必着）までに、はがきに住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号、応募動機を記入し、〒416-8558 本市場432-1 社会福祉協議会「社協モニター」係へ

**岩本山公園クイズラリー
「わんぱくクイズ王への道14」参加チーム**

りぶす富士（富士マリンプール） ☎33-3400

とき 3月7日(土) 9:30～12:30

雨天の場合は3月14日(土)

ところ 岩本山公園

対象 1チーム4人程度で構成（中学生以下は保護者同伴）

定員 50チーム200人（応募者多数の場合抽せん）

参加費 1チーム700円（保険料を含む）

申し込み 2月27日（必着）までに、はがきまたはFAX・Eメールに代表者の住所、氏名、年齢、電話番号、そのほかの参加者の氏名、年齢を記入し、〒417-0843 田中新田275-9 富士マリンプールへ

☎33-4055 ✉marine@fuji-kousyua.jp

※当せん者にのみ案内を発送します。

3月の市役所休日開庁日

開庁日 3月1日(日) 9:00～16:00

開庁窓口

★市民課（☎55-2747）

★収税課（☎55-2729）

★国民健康保険課（☎55-2751）

★廃棄物対策課（☎55-2770）

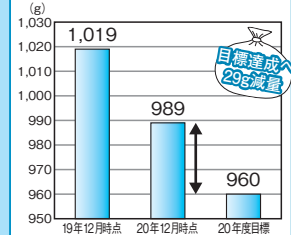
～めざせ！ごみ減量～ スマートだより

★21箇条の富士市ごみ憲章

「資源ごみ、分別守ってリサイクル。」

- ・ごみの分類表にしたがって、確実に分別してステーションに出しましょう。
- ・集団回収事業により繊維類（ウエス）を集めると、市から報奨金が交付されます。

1人1日当たりのごみ量比較



防災ワンポイント①

防災危機管理課 ☎55-2715

今後30年のうちに東海地震が起きる確率 87%

「静岡県を中心とした東海地域で、大規模な地震があす起こってもおかしくない」という東海地震説の発表から何事もなく30年以上が経過しました。しかし、「1日と東海地震の発生が近づいている」というのが地震学者の一致した意見です。

東海地震発生の根拠としくみ

①大地震は周期的に起きる

プレート境界型地震である東海地震は、過去に100年から150年周期で、ほぼ同じ場所、同じ規模の地震が繰り返して起こっています（前回は1854年の安政東海地震）。

②プレートにひずみが蓄積されている

日本付近では4つのプレートがひしめき合っており、日本の陸地側であるユーラシアプレートの下に、海側のフィリピン海プレートが沈み込み、ひずみが蓄積され、限界に達したときにユーラシアプレートが跳ね上がり、地震が発生します。